

**平成25年度  
決算報告書**

**取手市**

## 平成 25 年度 決算 報告 書

地方自治法第 233 条第 5 項の規定に基づき、平成 25 年度における主要な施策の成果を次のとおり報告します。

平成 26 年 9 月

取手市長 藤 井 信 吾

# 財 政 状 況

## 第1 国の予算

平成25年度の日本経済は、世界経済の緩やかな回復が期待される中で、既定の諸施策の推進等により、着実な需要の発現と雇用創出が見込まれ、国内需要主導で回復が進み、消費者物価上昇率は0.5%程度、完全失業率は、雇用者数が増加することから低下することが見込まれた。こうした結果、25年度の国内総生産の実質成長率は2.5%程度になると見込まれるなか、先行きのリスクとしては、欧州の政府債務問題等、海外経済を巡る不確実性、為替市場の動向、電力供給の制約等があることに留意する必要がある。

一方、国の財政は、24年度補正（第1号）後予算では公債依存度が49.2%にも及び、国・地方合わせた長期債務残高が24年度末においてGDP比198%程度になると見込まれ、主要先進国中最悪の水準であるなど、極めて深刻な状況にある。

このような状況下、平成25年度予算については、「復興・防災対策」、「成長による富の創出」、「暮らしの安心・地域活性化」の3分野に重点化するとの方針に基づいて、日本経済再生の実現に向け取組み、あわせて、緊急経済対策に基づく大型補正予算と一体的なものとして予算編成を行った。

この方針に基づいて編成された平成25年度の一般会計当初予算の規模は、9兆2兆6,115億円で、24年度当初予算に対して2兆2,776億円（2.5%）の増加となった。

## 第2 地方財政対策

平成25年度通常収支の歳出面においては、経費全般について徹底した節減合理化に努める一方、社会保障関係費の増加を適切に反映した計上を行うとともに、給与関係経費について国家公務員の給与減額支給措置と同様の削減を行うことと併せて、防災・減災事業や地域の活性化等の緊急課題に対応するために必要な経費を計上するほか、歳入面においては、地方の安定的な財政運営に必要となる地方の一般財源総額について、平成24年度地方財政計画と同水準を確保することを基本として、引き続き生ずることとなった大幅な財源不足について、地方財政の運営上支障が生じないよう適切な補填措置を講ずることとした。

また、東日本大震災分については、復旧・復興事業及び全国防災事業について、通常収支とはそれぞれ別枠で整理し、所要の事業費及び財源を確保することとした。

このような方針に沿った地方財政の規模は8兆1兆9,154億円で、24年度に対して507億円（0.1%）の増加となった。

## 第3 市の予算編成等

平成25年度は、第5次取手市総合計画の後期5ヶ年基本計画の2年目となることから、基本計画の着実な実現に向けた事業展開を図る必要がある。

このため、平成25年度の予算については、市の財政状況を踏まえたなかで、5つの重点項目を基本的な方針と定めた。

まず始めに、取手駅北土地利用構想に基づき進めている駅周辺の整備事業について

は、駅ビルの隣接地に自転車駐車を整備し、既存の駐車場3ヶ所の統合による利便性の向上と、駅西口から四谷橋方面への歩行者デッキの整備による、歩行回遊環境のバリアフリー化及び安全性の向上を図る。

2つ目は、平成24年度に策定した除染計画では、平成25年度までに学校・公園・通学路など、市内全域の除染を行うこととしていることから、引き続き、国庫補助金などの財源を活用しながら、公園や民有地の除染の確実な遂行を図る。

3つ目は、雨水排水対策事業や学校施設・公共施設の耐震化を緊急性の高いものから実施し、災害に強いまちづくりを推進していく。また、東日本大震災の経験を踏まえて見直した地域防災計画に基づき、備蓄品の整備や避難所の備えの強化などを進める。

4つ目は、地域資源を積極的に活用し、各種団体との連携による地域イベントや、音楽・芸術にちなんだイベントを通して、まちの活性化と情報発信を推進する。

また、取手駅周辺の活性化のため、西口の基盤整備と合わせて、健康・福祉・医療・環境の機能を含めた多世代が交流できる空間の整備に取り組むこととした。

5つ目は、子どもの受ける医療の充実やその保護者、高齢者の経済的負担軽減を図る。

この方針に基づいて編成された平成25年度一般会計当初予算の規模は、340億3,000万円で、24年度当初予算に対して14億6,000万円(4.5%)の増額となったが、平成25年度は市債の借換による2億円と放射能対策経費18億8,266万8千円が含まれていることから、それらを差し引いた実質的な予算規模(319億4,733万2千円)との比較では、6億2,266万8千円(1.9%)の減となった。

#### 第4 決算の状況等

一般会計の決算状況は、歳入予算額386億1,899万5千円に対し決算額は、354億2,665万8千円で、予算額に対する決算額の比率は91.73%となった。

歳出においては、予算額386億1,899万5千円に対し決算額は、345億5,882万6千円で89.49%となった。

全ての会計を合計した決算状況は、歳入予算額646億9,614万1千円に対し決算額は、604億193万7千円で、予算額に対する決算額の比率は93.36%となった。

歳出においては、予算額646億9,614万1千円に対し決算額は、584億1,356万8千円で90.29%となった。

平成25年度取手市会計別決算総括表

(単位：円、%)

会計別	区分	予算額	決算額	予算額に対する 決算額との比較	予算額に対する 決算額との比率
一般会計	歳入	38,618,995,000	35,426,658,572	3,192,336,428	91.73
	歳出	38,618,995,000	34,558,826,118	4,060,168,882	89.49
	歳入歳出差引額	—	867,832,454	繰越明許費繰越額 翌年度繰越金	40,310,000 827,522,454
取手駅西口都市整備事業特別会計	歳入	3,374,889,000	2,339,554,537	1,035,334,463	69.32
	歳出	3,374,889,000	2,286,165,585	1,088,723,415	67.74
	歳入歳出差引額	—	53,388,952	継続費通次繰越額及び 繰越明許費繰越額 翌年度繰越金	37,290,000 16,098,952
用地先行取得事業特別会計	歳入	289,651,000	289,649,733	1,267	100.00
	歳出	289,651,000	289,649,733	1,267	100.00
	歳入歳出差引額	—	0	翌年度繰越金	0
国民健康保険事業特別会計	歳入	13,001,400,000	13,164,781,594	△ 163,381,594	101.26
	歳出	13,001,400,000	12,426,381,604	575,018,396	95.58
	歳入歳出差引額	—	738,399,990	翌年度繰越金	738,399,990
後期高齢者医療特別会計	歳入	1,914,419,000	1,893,279,178	21,139,822	98.90
	歳出	1,914,419,000	1,883,247,467	31,171,533	98.37
	歳入歳出差引額	—	10,031,711	翌年度繰越金	10,031,711
介護保険特別会計	歳入	6,566,162,000	6,352,846,478	213,315,522	96.75
	歳出	6,566,162,000	6,086,239,419	479,922,581	92.69
	歳入歳出差引額	—	266,607,059	翌年度繰越金	266,607,059
介護サービス特別会計	歳入	20,961,000	20,745,748	215,252	98.97
	歳出	20,961,000	19,704,492	1,256,508	94.01
	歳入歳出差引額	—	1,041,256	翌年度繰越金	1,041,256
競輪事業特別会計	歳入	908,899,000	913,651,697	△ 4,752,697	100.52
	歳出	908,899,000	862,858,305	46,040,695	94.93
	歳入歳出差引額	—	50,793,392	翌年度繰越金	50,793,392
取手地方公平委員会特別会計	歳入	765,000	770,453	△ 5,453	100.71
	歳出	765,000	495,841	269,159	64.82
	歳入歳出差引額	—	274,612	翌年度繰越金	274,612
合計	歳入	64,696,141,000	60,401,937,990	4,294,203,010	93.36
	歳出	64,696,141,000	58,413,568,564	6,282,572,436	90.29
	歳入歳出差引額	—	1,988,369,426		

# 決算の概要

## 1 予算の状況

### 当初予算

平成25年度の一般会計の当初予算は、歳入歳出ともに、340億3,000万円で、平成24年度当初予算325億7,000万円に比較し、14億6,000万円(4.5%)の増となるが、平成25年度は市債の借換による2億円と放射能対策経費18億8,266万8千円が含まれていることから、それらを差し引いた実質的な予算規模(319億4,733万2千円)との比較では、6億2,266万8千円(1.9%)の減となった。

特別会計は、8会計で、当初予算額は、240億7,726万4千円となり、平成24年度の217億4,731万5千円に比較し、23億2,994万9千円(10.7%)の増となるが、平成25年度は市債の借換による2億円と放射能対策経費18億8,266万8千円が含まれていることから、それらを差し引いた実質的な予算規模(219億9,459万6千円)との比較では、2億4,728万1千円減(1.1%)の増となった。

### 補正予算

一般会計において9回の補正予算を組み、合計で31億2,530万4千円の増額補正を行い、繰越事業費繰越財源充当額14億6,369万1千円を加えた最終予算現額は、386億1,899万5千円となった。これを平成24年度の最終予算現額と比較すると、5億4,899万9千円(1.4%)の増となった。

また、特別会計における補正予算は、6特別会計で20億9,207万9千円を増額補正し、競輪事業特別会計で6億4,068万円を減額、繰越事業費繰越財源充当額5億4,848万3千円を加えた最終予算現額は、260億7,714万6千円となり、前年対比19億8,235万8千円(8.2%)の増となった。

## 2 決算の状況

### 一般会計

平成25年度は、原子力災害に伴う放射能対策事業については、除染計画に基づき、小・中学校、保育所、保育園、幼稚園、公園等の除染作業を実施し、全ての公共施設について完了した。さらに、除染実施対象区域内の私有地の空間放射線量調査測定及び除染作業に着手し、市民生活の回復に向けた取り組みを実施していく。

取手駅北土地利用構想の実現に向けた駅周辺の整備事業として、平成24年度・25年度の継続事業として整備してきた自転車駐車場及び歩行者デッキが完成し、歩行回遊環境のバリアフリー化が図られ、駅利用者や中心市街地への来街者などの利便性が向上された。また、取手駅周辺の活性化のため、健康・福祉・医療・環境の機能を含めた多世代が交流できる空間の整備として(仮称)ウェルネスプラザの実施設設計が完了し、今後、整備に向けた事業の進捗が図られた。

市民が安全で安心して暮らせるまちの実現に向けて、青柳、稲、白山八丁目、藤代1号、紫

水地区などの雨水排水整備を積極的に実施し浸水被害の軽減に努め、さらに、公共施設の耐震化事業は、白山小、戸頭中の校舎耐震補強工事や戸頭東小、寺原小の体育館耐震補強工事など、災害に強いまちづくりを進めてきた。

地域の活性化事業として、都市と農村部の交流拠点施設の建設を行う茨城みなみ農業協同組合に対し補助金を交付し、農産物直売所「夢とりで」がオープンしたことにより、農産物の販路拡大や都市と農村部の交流促進に大きく寄与することができた。

また、住宅街にあった既存スーパーの撤退や市民の高齢化に伴う、買い物弱者問題に対して、移動販売車を巡回することで、買い物環境の改善を進めてきた。

ぬくもり医療支援事業として、子どもの受ける医療の充実や保護者の経済的負担軽減を図るため、市の単独事業として実施しているぬくもり支援事業の対象者を、小学校3年生から6年生に拡大し、所得制限も撤廃した。

また、75歳以上の方を対象に、新たに高齢者肺炎球菌ワクチン接種の一部助成を実施した。

### (決算額)

一般会計の歳入歳出決算額（繰越事業を含む。）は、

歳入 354億2,665万8千円（平成24年度 367億1,296万6千円）

歳出 345億5,882万6千円（平成24年度 352億8,431万7千円）

となり、平成24年度に比べ歳入で12億8,630万8千円（3.5%）の減、歳出で7億2,549万1千円（2.1%）の減となった。

### (決算収支)

一般会計の歳入歳出差引額は、8億6,783万2千円で、このうち平成26年度へ繰り越すべき財源4,031万円（繰越明許費繰越額）を控除した実質収支額は、8億2,752万2千円となった。

## (歳入)

### 歳入の状況

平成25年度の一般会計歳入決算額は、354億2,665万8千円で24年度と比較すると12億8,630万8千円(3.5%)の減となった。特に地方交付税が10億7,288万円減少しているが、うち震災復興特別交付税が13億7,149万1千円減少したことによるものである。

#### 主な歳入の前年度との比較

(単位：千円)

	平成25年度	平成24年度	増減	伸び率(%)
市税	14,694,105	14,929,049	△ 234,944	△ 1.6
地方譲与税	317,147	333,021	△ 15,874	△ 4.8
利子割交付金	32,221	35,515	△ 3,294	△ 9.3
配当割交付金	52,819	28,798	24,021	83.4
株式等譲渡所得割交付金	87,565	7,433	80,132	1,078.1
地方消費税交付金	862,414	869,827	△ 7,413	△ 0.9
地方特例交付金	61,182	63,325	△ 2,143	△ 3.4
地方交付税	4,698,269	5,771,149	△ 1,072,880	△ 18.6
分担金・負担金	425,340	420,080	5,260	1.3
国庫支出金	4,700,363	4,398,211	302,152	6.9
県支出金	1,957,837	1,942,200	15,637	0.8
繰入金	374,940	597,220	△ 222,280	△ 37.2
繰越金	1,428,649	1,045,978	382,671	36.6
諸収入	1,566,999	1,634,269	△ 67,270	△ 4.1
市債	3,745,200	3,769,300	△ 24,100	△ 0.6
その他	421,608	867,591	△ 445,983	△ 51.4
合計	35,426,658	36,712,966	△ 1,286,308	△ 3.5

### 歳入一般財源

平成25年度の歳入一般財源(市税、地方譲与税、利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、地方消費税交付金、ゴルフ場利用税交付金、自動車取得税交付金、地方特例交付金、地方交付税、交通安全対策特別交付金)は、209億5,925万4千円で平成24年度の222億426万7千円に比べ、12億4,501万3千円(5.6%)の減となった。

歳入一般財源の歳入総額に占める割合は、59.2%で平成24年度の60.5%と比較すると1.3%の減となった。

臨時財政対策債26億510万円を加えると、235億6,435万4千円となり、平成24年度と比較し、11億4,831万3千円(4.6%)の減、歳入一般財源の歳入総額に占める割合は、66.5%となった。

## 歳入一般財源の決算額の比較

(単位：千円)

款名	平成25年度	平成24年度	増減	伸び率 (%)
市税	14,694,105	14,929,049	△ 234,944	△ 1.6
地方譲与税	317,147	333,021	△ 15,874	△ 4.8
利子割交付金	32,221	35,515	△ 3,294	△ 9.3
配当割交付金	52,819	28,798	24,021	83.4
株式等譲渡所得割交付金	87,565	7,433	80,132	1,078.1
地方消費税交付金	862,414	869,827	△ 7,413	△ 0.9
ゴルフ場利用税交付金	62,524	62,919	△ 395	△ 0.6
自動車取得税交付金	75,489	86,420	△ 10,931	△ 12.6
地方特例交付金	61,182	63,325	△ 2,143	△ 3.4
地方交付税	4,698,269	5,771,149	△ 1,072,880	△ 18.6
交通安全対策特別交付金	15,519	16,811	△ 1,292	△ 7.7
小計	20,959,254	22,204,267	△ 1,245,013	△ 5.6
臨時財政対策債	2,605,100	2,508,400	96,700	3.9
小計	2,605,100	2,508,400	96,700	3.9
合計	23,564,354	24,712,667	△ 1,148,313	△ 4.6

## (歳出)

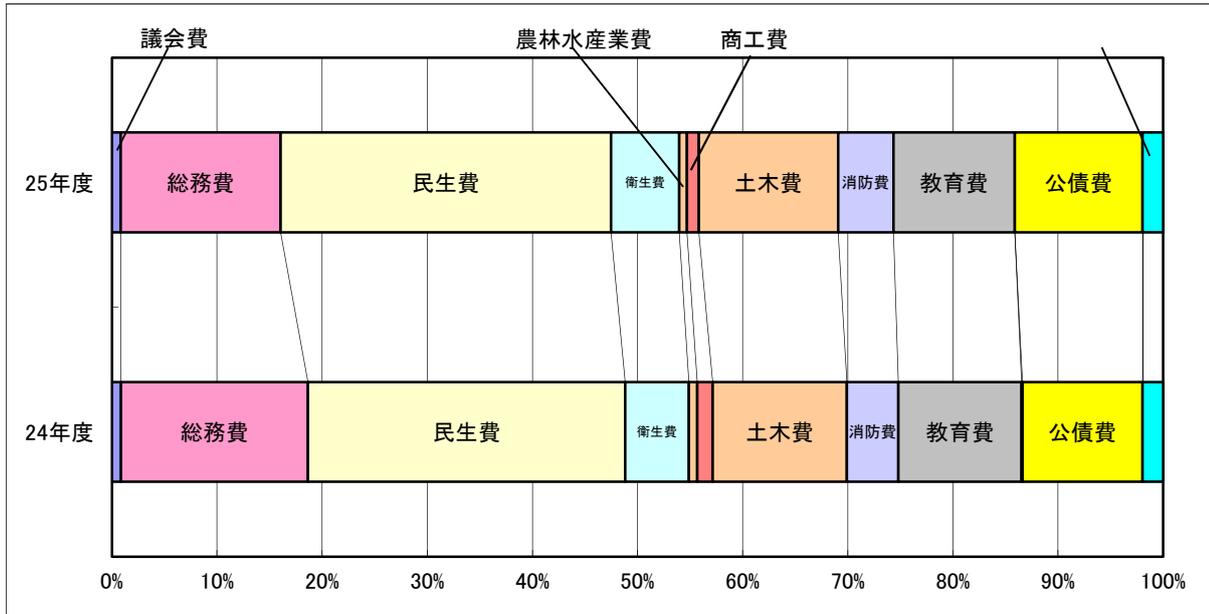
### 歳出の状況

平成25年度の一般会計歳出決算額は、345億5,882万6千円で24年度と比較すると7億2,549万1千円(2.1%)の減となった。

### 目的別歳出

(単位：千円)

款名	平成25年度	構成比(%)	平成24年度	増減	伸び率 (%)
議会費	287,874	0.8	308,450	△ 20,576	△ 6.7
総務費	5,254,157	15.2	6,272,946	△ 1,018,789	△ 16.2
民生費	10,870,718	31.5	10,644,129	226,589	2.1
衛生費	2,231,834	6.5	2,142,614	89,220	4.2
農林水産業費	262,619	0.8	273,464	△ 10,845	△ 4.0
商工費	388,016	1.1	526,809	△ 138,793	△ 26.3
土木費	4,575,909	13.2	4,498,764	77,145	1.7
消防費	1,821,851	5.3	1,730,853	90,998	5.3
教育費	3,986,815	11.5	4,136,747	△ 149,932	△ 3.6
災害復旧費	0	0.0	31,881	△ 31,881	△ 100.0
公債費	4,203,892	12.2	4,027,541	176,351	4.4
諸支出金	675,141	1.9	690,119	△ 14,978	△ 2.2
合計	34,558,826	100.0	35,284,317	△ 725,491	△ 2.1



### 特別会計

特別会計の歳入歳出決算額は、次の表のとおりとなった。

(単位：千円)

名 称	歳 入	歳 出	差引残高
取手駅西口都市整備事業	2,339,554	2,286,166	53,388
用地先行取得事業	289,650	289,650	0
国民健康保険事業	13,164,781	12,426,382	738,399
後期高齢者医療	1,893,279	1,883,248	10,031
介護保険	6,352,846	6,086,239	266,607
介護サービス	20,745	19,704	1,041
競輪事業	913,651	862,858	50,793
取手地方公平委員会	769	495	274
合 計	24,975,275	23,854,742	1,120,533